

6.8 植物

6.8. 植物

6.8.1. 現況調査

(1) 調査内容

調査内容は、表 6.8-1に示すとおりである。

表 6.8-1 調査内容（植物）

項目	調査内容
植物	①植物相の状況（シダ植物、種子植物） ②植生の状況 ③重要な植物種及び植物群落の分布、生育の概要及び生育環境の状況

(2) 調査方法

ア 既存資料調査

調査方法は、表 6.8-2に示すとおりである。

表 6.8-2 調査方法（植物：既存資料調査）

調査内容	調査方法
①植物相の状況（シダ植物、種子植物） ②植生の状況 ③重要な植物種及び植物群落の分布、生育の概要及び生育環境の状況	調査方法は、既存資料により植物相及び重要な種、植生等の情報を収集し、整理するものとする。

イ 現地調査

調査方法は、表 6.8-3に示すとおりである。

表 6.8-3 調査方法（植物：現地調査）

調査内容	調査方法
①植物相の状況（シダ植物、種子植物）	調査方法は、高等植物（シダ植物、種子植物）を対象として、調査地域内を現地踏査により確認種を記録する方法とする。
②植生の状況 ③重要な植物種及び植物群落の分布、生育の概要及び生育環境の状況	調査方法は、重要な植物種は確認位置及び個体数並びに現地状況を併せて記録するものとする。また、植生等は最新の空中写真判読による予察図に基づいて調査地域の代表的な群落においてBraun-Blanquet(1964)による植物社会学的方法によるコドラート調査を実施し、群落構造及び群落組成並びに分布状況を把握して、現存植生図を作成するものとする。また、各群落の立地環境を把握するために、地形（斜面型、斜面方位、傾斜角度）、環境（風当たり、日当たり、土湿状況）、土壌、標高、調査面積等を記録するものとする。

(3) 調査地域等

ア 既存資料調査

調査地域は、「第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況」における調査区域である。

イ 現地調査

調査地域及び調査地点は、表 6.8-4及び図 6.8-1に示すとおりである。

表 6.8-4 調査方法（植物：現地調査）

調査内容	調査地域及び調査地点
①植物相の状況（シダ植物、種子植物） ②植生の状況 ③重要な植物種及び植物群落の分布、 生育の概要及び生育環境の状況	調査地域は、対象事業実施区域及びその周辺 250m 程度とする。 水生植物については、対象事業実施区域より下流約 3km までの水路内とする。ただし、群落組成の調査地点は、空中写真判読による予察図に基づき、調査地域内の群落が網羅されるように、また、同一群落において調査地点が接近しないように留意して設定するものとする。

(4) 調査期間等

ア 既存資料調査

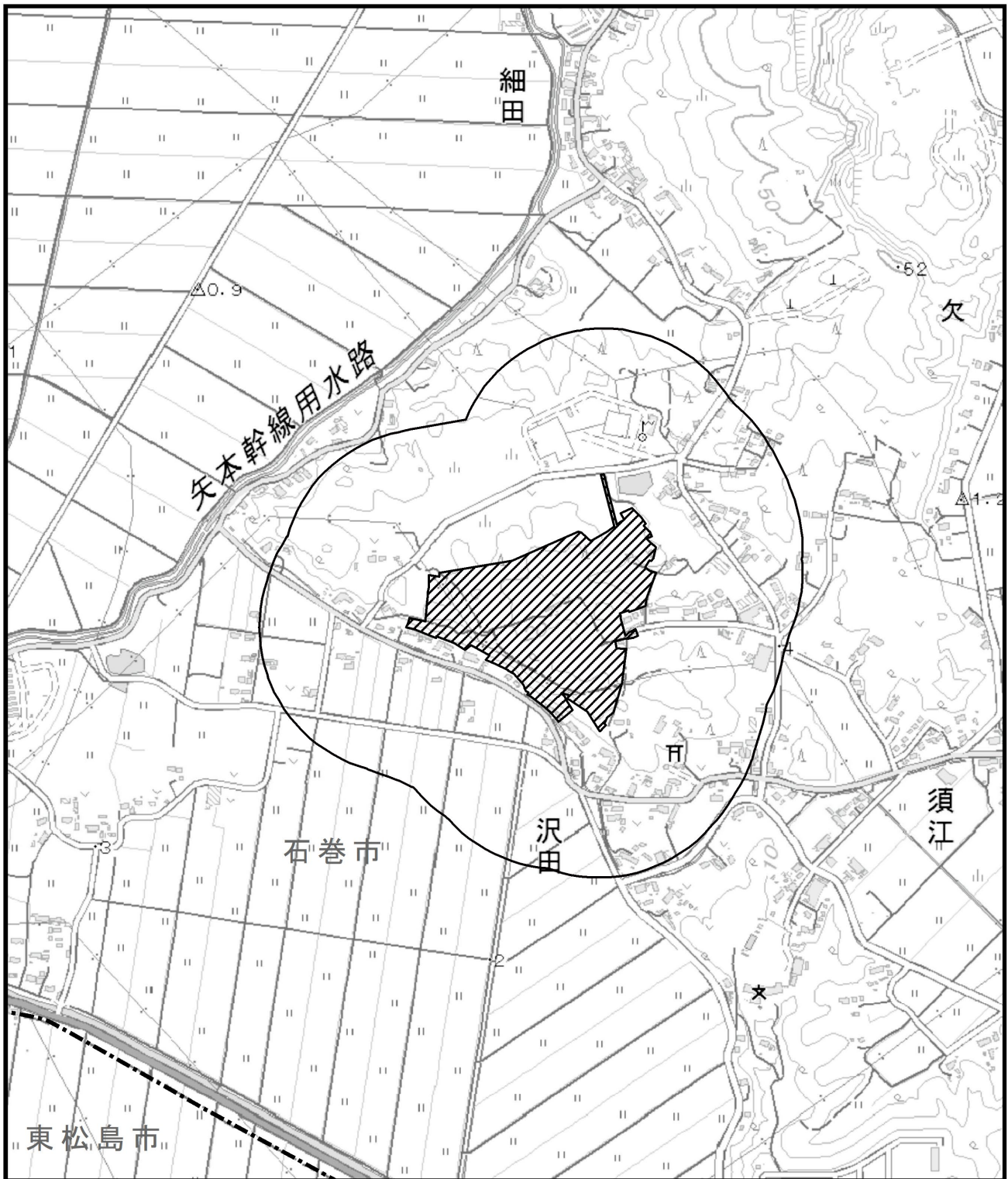
調査期間は、限定しないものとした。

イ 現地調査




調査時期及び調査期間は、表 6.8-5に示すとおりである。

表 6.8-5 調査期間（植物：現地調査）

調査内容	調査時期	調査期間
①植物相の状況（シダ植物、種子植物） ②植生の状況 ③重要な植物種及び植物群落の分布、 生育の概要及び生育環境の状況	夏季	平成 30 年 7 月 20 日(金)、平成 30 年 7 月 23 日(月)
	秋季	平成 30 年 9 月 19 日(水)～平成 30 年 9 月 21 日(金)
	早春季	平成 31 年 4 月 2 日(火)～平成 31 年 4 月 3 日(水)
	春季	令和元年 5 月 2 日(木)～令和元年 5 月 3 日(金)
水生植物調査・植生群落補足調査		令和元年 8 月 28 日(水)



凡例

-  : 対象事業実施区域
-  : 市境界線
-  : 対象事業実施区域から250mの範囲



S=1:10,000

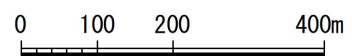
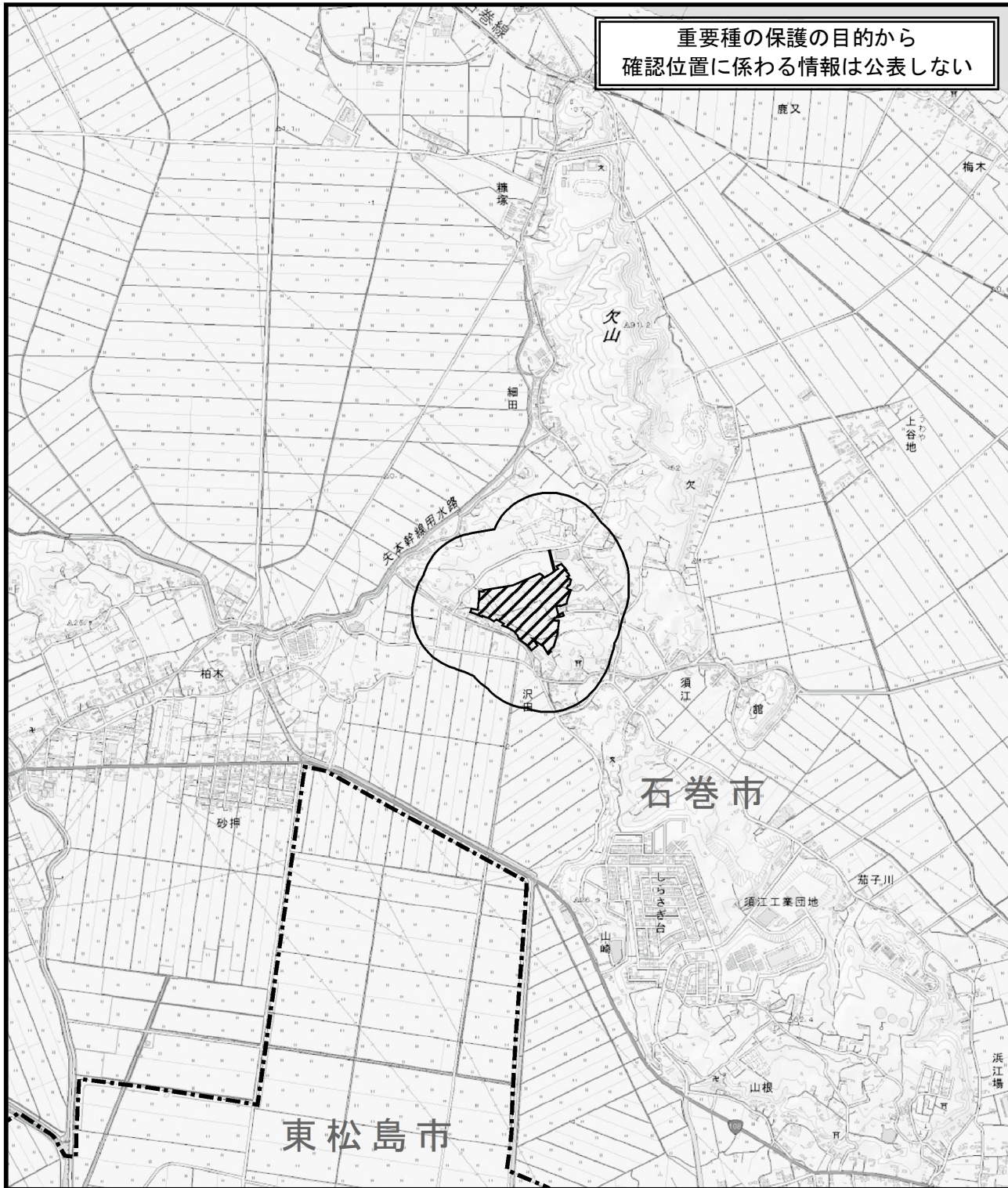



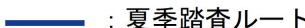
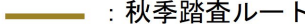
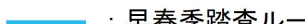
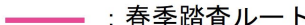


図 6.8-1
植物調査地域図 (現地調査)

重要種の保護の目的から
確認位置に係わる情報は公表しない



凡例

-  : 対象事業実施区域
-  : 市境界線
-  : 対象事業実施区域から250mの範囲
-  : 夏季踏査ルート
-  : 秋季踏査ルート
-  : 早春季踏査ルート
-  : 春季踏査ルート
-  : 水生植物調査ルート

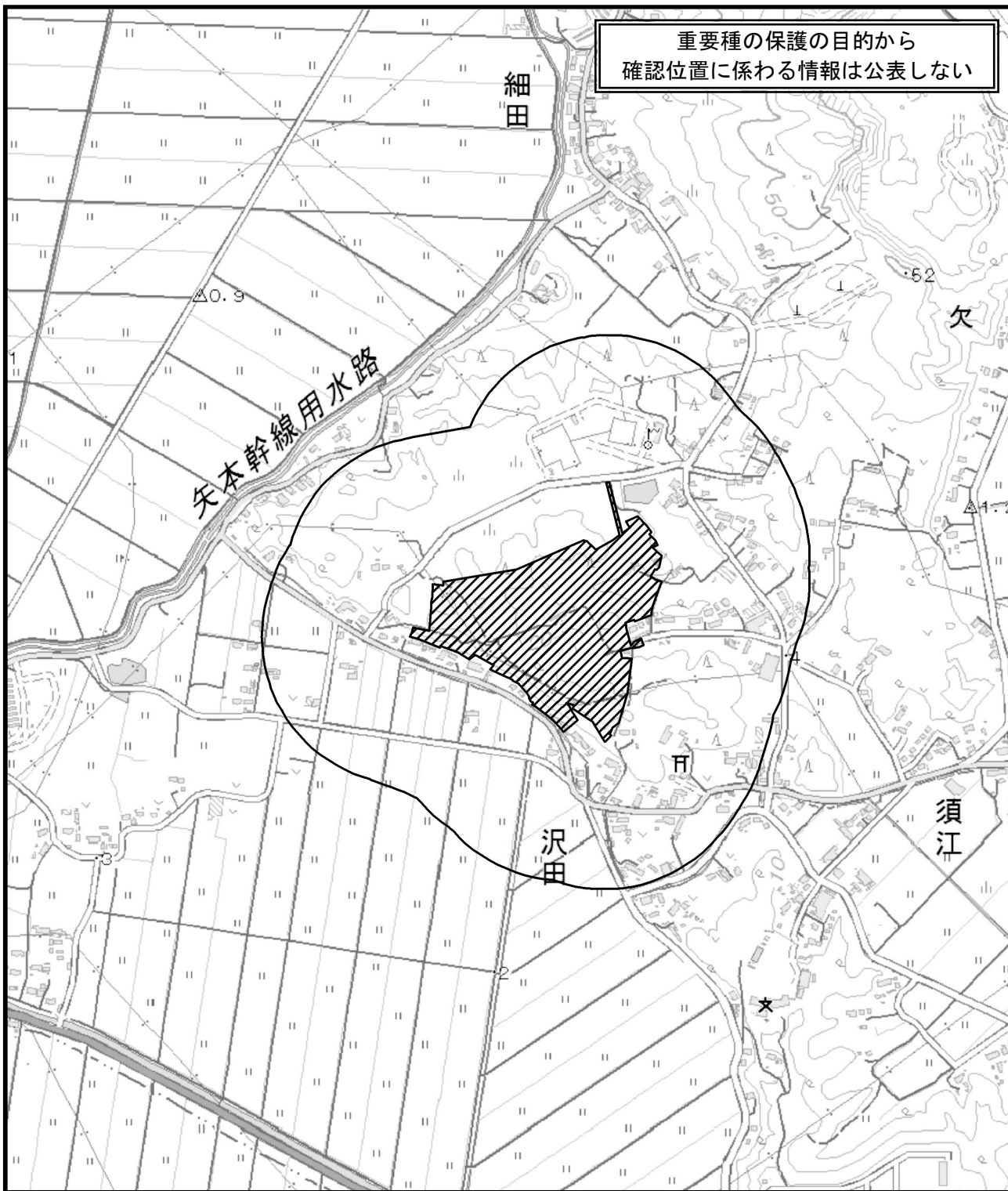


S=1:25,000


0 250 500 1000m

図 6.8-2(1)
任意踏査ルート図 (植物)

重要種の保護の目的から
確認位置に係わる情報は公表しない



凡例

- | | | | |
|---|-------------------------|---|-------------|
|  | : 対象事業実施区域 |  | : 夏季踏査ルート |
|  | : 市境界線 |  | : 秋季踏査ルート |
|  | : 対象事業実施区域
から250mの範囲 |  | : 早春季踏査ルート |
| | |  | : 春季踏査ルート |
| | |  | : 水生植物調査ルート |



S=1:10,000

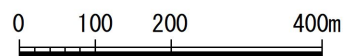


図 6.8-3(2)
任意踏査ルート図 (植物)

(5) 調査結果

ア 既存資料調査

対象事業実施区域及びその周辺の植物相及び重要な植物種の状況は、「第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息または生育、植生及び生態系の状況」に示すとおりである。

イ 現地調査

① 植物相の状況（シダ植物、種子植物）

植物の生育状況は表 6.8-6、確認された植物リストは表 6.8-7(1)～(13)に示すとおりである。

現地調査の結果、115 科 537 種（夏季調査では 104 科 408 種、秋季調査では 105 科 387 種、早春季調査では 52 科 130 種、春季では 84 科 263 種）の植物が確認された。

環境別にみると、対象事業実施区域内では、夏季調査では 228 種、秋季調査では 224 種、早春季調査では 75 種、春季調査では 150 種が確認された。事業実施区域外では、夏季調査では 342 種、秋季調査では 296 種、早春季調査では 105 種、春季調査では 209 種が確認された。どの調査時期も対象事業実施区域内より対象事業実施区域外で多くの種が確認されており、対象事業実施区域内は樹林環境のみであるのに対し、対象事業実施区域外は樹林帯や草地、水田地帯、畑、農業水路等多くの生息環境があったためであると考えられる。

季節別にみると、夏季には、ジャガやキショウブ等のアヤメ科植物やネジバナ等のラン科の植物、ヤマモミジ等が確認された。秋季には、イッポンワラビ、ヘビイチゴ、コスモス、ヤブラン等が確認された。早春季には、ホトケノザやオドリコソウ等のシソ科の植物が確認された。春季には、ヒナゲシ等のケシ科植物やエゾタンポポ、クルマユリ等が確認された。夏季から秋季にかけての種数が多く、キク科やカヤツリグサ科の多くはこの 2 季で主に確認された。また、バラ科やイネ科の植物はどの時期にも確認された。

水生植物調査においては、XXXXXXXXXXで 3 科 3 種の水生植物が確認された。XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXで調査を実施し、主にXXXXXXXXXXではオオカナダモが多数確認され、XXXXXXXXXXではホザキノフサモ、ホソバミズヒキモが多数確認された。

以上のように、調査範囲内には樹林、草地、水田地帯等様々な環境が存在しており、それぞれの環境に適した植物が確認された。

表 6.8-6 生育状況（植物：現地調査）

区 分		夏季		秋季		早春季		春季		計		
		科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	
シダ植物		10	30	10	31	6	14	9	20	13	42	
種子植物	裸子植物	3	5	2	4	2	4	2	4	3	5	
	被子植物	双子葉植物	51	168	50	163	25	53	40	117	53	214
		合弁花類	20	100	22	92	9	28	17	64	23	128
	単子葉植物	20	105	21	97	10	31	16	58	23	148	
計		104 科	408 種	105 科	387 種	52 科	130 種	84 科	263 種	115 科	537 種	

表 6.8-7 (1) 確認種 (植物 : 現地調査) (1/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春季	春季
1	ヒカゲノカズラ	ホソバトウゲシバ	<i>Huperzia serrata</i> var. <i>serrata</i>				○
2	トクサ	スキナ	<i>Equisetum arvense</i>	○	○	○	○
3		イヌスキナ	<i>Equisetum palustre</i>	○	○		○
4	ハナヤスリ	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>		○		
5		フユノハナワラビ	<i>Botrychium ternatum</i>			○	
6	センマイ	センマイ	<i>Osmunda japonica</i>	○	○		○
7	コハノイシカクマ	ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> ssp. <i>japonicum</i>	○	○		○
8	イノモトソウ	イワカネソウ	<i>Coniogramme japonica</i>	○			○
9	チャセンシダ	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i>	○	○		
10	ヒメシダ	ミトリヒメワラビ	<i>Macrothelypteris viridifrons</i>	○			
11		ハリカネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i>	○	○		
12		ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i>		○		
13		ミゾシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>		○		
14	コウヤワラビ	イヌカネソク	<i>Onoclea orientalis</i>	○	○	○	
15		コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> var. <i>interrupta</i>	○	○		○
16		クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i>	○			
17	シシカシラ	シシカシラ	<i>Blechnum niponicum</i>	○	○	○	○
18	メシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i>	○	○		○
19		カラクサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i>	○	○		○
20		イッポノワラビ	<i>Athyrium crenulatoserrulatum</i>		○		
21		サトメシダ	<i>Athyrium deltoideofrons</i>	○	○		
22		ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>	○	○		
23		ヘビノネコサ	<i>Athyrium yokoscense</i>	○	○		○
24		ホソバシケシダ	<i>Deparia conilii</i>	○	○		○
25		シケシダ	<i>Deparia japonica</i>	○	○		○
26		キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>				○
27		オシダ	ホソバナライシダ	<i>Arachniodes borealis</i>	○	○	○
28	リョウメンシダ		<i>Arachniodes standishii</i>	○	○	○	○
29	ヤマヤブソテツ		<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>clivicola</i>	○	○	○	
30	ミサキカクマ		<i>Dryopteris chinensis</i>	○	○		
31	オシダ		<i>Dryopteris crassirhizoma</i>			○	
32	ヘニシダ		<i>Dryopteris erythrosora</i>	○	○	○	○
33	クマワラビ		<i>Dryopteris lacera</i>	○	○		
34	トウゴクシダ		<i>Dryopteris nipponensis</i>		○	○	
35	ミヤマイチシダ		<i>Dryopteris sabaiei</i>	○			
36	タニホ		<i>Dryopteris tokyoensis</i>	○			
37	オクマワラビ		<i>Dryopteris uniformis</i>	○	○	○	○
38	アイヌスライテ		<i>Polystichum longifrons</i>		○	○	○
39	イワシロイテ		<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i>	○	○	○	
40	サカゲイテ		<i>Polystichum retrosopaleaceum</i>	○			○
41	シユウモンジシダ		<i>Polystichum tripterum</i>		○		
42	ウラボシ	ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>			○	

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和元年度版ー』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (2) 確認種 (植物 : 現地調査) (2/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春季	春季
43	マツ	モミ	<i>Abies firma</i>	○	○	○	○
44		アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>	○	○	○	○
45	ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	○	○	○	○
46		スキ	<i>Cryptomeria japonica var. japonica</i>	○	○	○	○
47	イチイ	カヤ	<i>Torreya nucifera var. nucifera</i>	○			
48	トクサミ	トクサミ	<i>Houttuynia cordata</i>	○	○		○
49	モクレン	コブシ	<i>Magnolia kobus</i>	○	○		
50		ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i>	○	○	○	○
51	クスノキ	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata var. membranacea</i>	○	○		○
52		シロタモ	<i>Neolitsea sericea var. sericea</i>	○	○	○	○
53	ショウブ	ショウブ	<i>Acorus calamus</i>				○
54	サトイモ	ミミカタテンナンショウ	<i>Arisaema limbatum</i>	○	○		○
55		コウライテンナンショウ	<i>Arisaema peninsulae</i>	○	○		
56		ウラシマソウ	<i>Arisaema thunbergii ssp. urashima</i>				○
57		コウキクサ	<i>Lemna minor</i>	○	○		
58		カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i>	○	○		
59	オモタカ	ヘラオモタカ	<i>Alisma canaliculatum</i>	○	○		
60	トチカカミ	オオカナタモ	<i>Egeria densa</i>		○	○	
61	ヒルムシロ	ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus var. octandrus</i>	○	○		
62	ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>	○	○		
63		オニトコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>	○	○		
64	シュロソウ	エンレイソウ	<i>Trillium apetalon</i>	○	○	○	○
65	イヌサフラン	チコユリ	<i>Disporum smilacinum</i>	○	○		○
66	サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smilax china var. china</i>	○	○		○
67		タチシオテ	<i>Smilax nipponica</i>	○	○		○
68		シオテ	<i>Smilax riparia</i>	○			
69		ヤマカシユウ	<i>Smilax sieboldii</i>	○	○		
70	ユリ	カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i>			○	○
71		ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>	○	○		○
72		オニユリ	<i>Lilium lancifolium</i>	○	○		○
73		クルマユリ	<i>Lilium medeoloides</i>				○
74		ヤマジノホトキス	<i>Tricyrtis affinis</i>	○	○		○
75	ラン	ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>			○	
76		サイハイラン	<i>Cremastra variabilis</i>	○	○	○	○
77		シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>			○	○
78		アケボノシュラン	<i>Goodyera foliosa var. laevis</i>			○	○
79		クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>	○			
80		ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis var. amoena</i>	○			
81	アヤメ	シャカ	<i>Iris japonica</i>	○			
82		キシヨウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	○			
83		ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i>	○			
84	スキノキ	セソテイ	<i>Hemerocallis dumortieri var. esculenta</i>	○	○	○	○

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和元年度版ー』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (3) 確認種 (植物 : 現地調査) (3/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春季	春季
85	スキナキ	ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva var. disticha</i>	○			
86		ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva var. kwanso</i>	○			
87	ヒカンバナ	ノビル	<i>Allium macrostemon</i>		○	○	○
88		ゴラ	<i>Allium tuberosum</i>		○		
89		ヒカンバナ	<i>Lycoris radiata</i>		○	○	○
90	クサスキカスラ	コハキボウシ	<i>Hosta sieboldii</i>	○	○		○
91		ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i>	○	○	○	○
92		ヤブラン	<i>Liriope muscari</i>		○		
93		ユキザサ	<i>Maianthemum japonicum</i>				○
94		シヤノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>	○	○	○	○
95		オオハシヤノヒゲ	<i>Ophiopogon planiscapus</i>	○	○	○	○
96		ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>				○
97		オモト	<i>Rohdea japonica</i>	○	○	○	○
98	ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	○	○	○	○
99	ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	○	○		○
100		イホクサ	<i>Murdannia keisak</i>	○	○		
101	ミスアオイ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>	○	○		
102	ショウガ	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>	○	○		
103	ガマ	ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i>	○	○		○
104		ガマ	<i>Typha latifolia</i>		○		
105	イクサ	イクサ	<i>Juncus decipiens</i>	○	○	○	○
106		コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus ssp. leschenaultii</i>	○	○		
107		クサイ	<i>Juncus tenuis</i>	○	○		
108		スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>				○
109		ヤマスズメノヒエ	<i>Luzula multiflora</i>				○
110		ヌカホシソウ	<i>Luzula plumosa</i>	○			○
111	カヤツリグサ	ウキヤカラ	<i>Bolboschoenus fluviatilis</i>	○			
112		ミノホロスゲ	<i>Carex albata</i>	○			
113		ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i>	○			○
114		カサスゲ	<i>Carex dispalata</i>	○	○		
115		ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i>	○	○		○
116		ミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i>		○		
117		タカネマスカサ	<i>Carex planata</i>	○			
118		イトアオスゲ	<i>Carex puberula</i>				○
119		センダイスゲ	<i>Carex sendaica</i>		○		
120		タカネソウ	<i>Carex siderosticta</i>	○	○		○
121		アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i>	○			
122		ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i>	○			
123		ヒメクク	<i>Cyperus brevifolius var. leirolepis</i>		○		
124		タマカヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>		○		
125	ヒナカヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>	○	○			
126	コアゼカヤツリ	<i>Cyperus haspan var. tuberiferus</i>	○				

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和元年度版ー』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (4) 確認種 (植物 : 現地調査) (4/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期				
				夏季	秋季	早春季	春季	
127	カヤツリグサ	コゴメカヤツリ	<i>Cyperus iria</i>		○			
128		カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>		○			
129		アオカヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i>		○	○		
130		カワラスカグサ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>			○		
131		ハリイ	<i>Eleocharis congesta var. japonica</i>		○	○		
132		コアゼテシツキ	<i>Fimbristylis aestivalis</i>			○		
133		ノテシツキ	<i>Fimbristylis complanata</i>		○			
134		ヒテリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i>			○		
135		ホタルイ	<i>Schoenoplectiella hotarui</i>		○			
136		イヌホタルイ	<i>Schoenoplectiella juncooides</i>		○	○		
137		アブラカヤ	<i>Scirpus wichurae</i>			○		
138		イネ	コスカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>	○			
139			ハイコスカグサ	<i>Agrostis stolonifera</i>	○			
140	スズメノテッポウ		<i>Alopecurus aequalis var. amurensis</i>				○	
141	メリケンカルカヤ		<i>Andropogon virginicus</i>	○	○	○	○	
142	ハルカヤ		<i>Anthoxanthum odoratum</i>	○		○	○	
143	コブナグサ		<i>Arthraxon hispidus</i>	○	○			
144	ヤマカモシグサ		<i>Brachypodium sylvaticum</i>	○	○			
145	コハンソウ		<i>Briza maxima</i>	○				
146	イヌムギ		<i>Bromus catharticus</i>	○	○		○	
147	ヒゲナカスズメノチヤヒキ		<i>Bromus diandrus</i>	○			○	
148	スズメノチヤヒキ		<i>Bromus japonicus</i>	○	○			
149	キツネカヤ		<i>Bromus remotiflorus</i>	○				
150	ノカリヤス		<i>Calamagrostis brachytricha var. brachytricha</i>			○		
151	ヤマアワ		<i>Calamagrostis epigeios</i>	○	○			
152	カモカヤ		<i>Dactylis glomerata</i>	○	○	○	○	
153	メシハ		<i>Digitaria ciliaris</i>	○	○			
154	アキメシハ		<i>Digitaria violascens</i>	○				
155	イヌビエ		<i>Echinochloa crus-galli</i>	○	○			
156	オヒシハ		<i>Eleusine indica</i>	○	○			
157	アオカモシグサ		<i>Elymus racemifer</i>	○	○			
158	カモシグサ		<i>Elymus tsukushiensis var. transiens</i>	○				
159	シナダレスズメカヤ		<i>Eragrostis curvula</i>	○	○	○	○	
160	カセグサ		<i>Eragrostis ferruginea</i>	○	○			
161	コスズメカヤ		<i>Eragrostis minor</i>	○	○			
162	ニワホコリ		<i>Eragrostis multicaulis</i>	○				
163	ナルコビエ		<i>Eriochloa villosa</i>	○				
164	シラケカヤ		<i>Holcus lanatus</i>	○				
165	チカヤ		<i>Imperata cylindrica var. koenigii</i>	○	○			
166	チコササ		<i>Isachne globosa</i>	○				
167	エゾノサヤカグサ		<i>Leersia oryzoides</i>			○		
168	ネズミムギ		<i>Lolium multiflorum</i>	○				

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和元年度版ー』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (5) 確認種 (植物 : 現地調査) (5/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春季	春季
169	イネ	オキ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	○	○		○
170		スキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	○	○	○	○
171		コチミササ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>		○		
172		ケチミササ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>	○	○		
173		ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>		○		
174		オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>		○		
175		アメリカスズメノヒエ	<i>Paspalum notatum</i>	○			
176		スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>		○		
177		チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>		○		
178		クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>	○	○		
179		ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	○	○	○	○
180		モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i>	○	○	○	○
181		マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i>	○	○	○	○
182		アスマネササ	<i>Pleioblastus chino</i>	○	○	○	○
183		ミゾイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i>				○
184		スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>	○		○	○
185		ヌマイチゴツナギ	<i>Poa palustris</i>				○
186		ナカハグサ	<i>Poa pratensis</i>	○			
187		オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>				○
188		ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i>	○	○	○	○
189	ハイヌメリグサ	<i>Sacciolepis spicata</i>		○			
190	ミヤコササ	<i>Sasa nipponica</i>		○			
191	チマキササ	<i>Sasa palmata</i>		○			
192	クマササ	<i>Sasa veitchii</i>	○	○	○	○	
193	アスマササ	<i>Sasaella ramosa</i>	○	○	○	○	
194	オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i>	○	○	○	○	
195	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>	○	○			
196	キンエノコロ	<i>Setaria pumilla</i>		○			
197	エノコログサ	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i>	○	○			
198	ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>myuros</i>	○				
199	マコモ	<i>Zizania latifolia</i>	○	○			
200	シバ	<i>Zoysia japonica</i>	○	○	○	○	
201	ケシ	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> ssp. <i>asiaticum</i>	○	○	○	○
202		ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>				○
203		ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>				○
204		ヒナゲシ	<i>Papaver rhoeas</i>				○
205	アケビ	コヨウアケビ	<i>Akebia x pentaphylla</i> var. <i>pentaphylla</i>	○	○	○	
206		アケビ	<i>Akebia quinata</i>	○	○		○
207		ミツハアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>	○	○	○	○
208	ツツラフシ	アオツツラフシ	<i>Cocculus trilobus</i>		○		
209	メギ	イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	○	○		○
210	キンポウゲ	ホトツル	<i>Clematis apiifolia</i>	○	○		

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和元年度版ー』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (6) 確認種 (植物 : 現地調査) (6/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春	春季
211	キンポウゲ	タカラシ	<i>Ranunculus sceleratus</i>			○	○
212		キツネノホトタ	<i>Ranunculus silerifolius</i>	○	○	○	○
213		アキカマツ	<i>Thalictrum minus var. hypoleucum</i>	○	○		○
214	アワフキ	アワフキ	<i>Meliosma myriantha</i>	○	○		○
215	ユスリハ	ユスリハ	<i>Daphniphyllum macropodum var. macropodum</i>	○	○	○	○
216	ユキノシタ	トリアシヨウマ	<i>Astilbe thunbergii var. congesta</i>	○	○		○
217		ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i>			○	○
218	ヘンケイソウ	コモチマンネンクサ	<i>Sedum bulbiferum</i>			○	○
219		オカタイトゴメ	<i>Sedum japonicum ssp. oryzifolium var. pumilum</i>	○	○	○	
220		ツルマンネンクサ	<i>Sedum sarmentosum</i>	○	○	○	○
221	アリノトウグサ	アリノトウグサ	<i>Gonocarpus micranthus</i>	○			
222		ホサキノフサモ	<i>Myriophyllum spicatum</i>	○			
223	ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa var. heterophylla</i>	○	○		
224		ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>	○	○		
225		ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>	○	○		
226		エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i>	○	○		
227		サンカクヅル	<i>Vitis flexuosa</i>	○	○		
228		マメ	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>	○	○	
229	ネムノキ		<i>Albizia julibrissin var. julibrissin</i>	○	○		
230	ヤブマメ		<i>Amphicarpaea edgeworthii</i>	○	○		
231	ホトイモ		<i>Apios fortunei</i>	○	○		
232	ゲンゲ		<i>Astragalus sinicus</i>				○
233	ノサガ		<i>Dumasia truncata</i>	○	○		
234	ツルマメ		<i>Glycine max ssp. soja</i>	○	○		
235	ヌビトハギ		<i>Hylodesmum podocarpum ssp. oxyphyllum var. japonicum</i>		○		
236	ヤブハギ		<i>Hylodesmum podocarpum ssp. oxyphyllum var. mandshuricum</i>	○	○		
237	ヤハスソウ		<i>Kummerowia striata</i>	○	○		
238	ヤマハギ		<i>Lespedeza bicolor var. bicolor</i>	○	○		
239	メトハギ		<i>Lespedeza cuneata</i>		○		
240	ハイメトハギ		<i>Lespedeza cuneata var. serpens</i>		○		
241	ネコハギ		<i>Lespedeza pilosa var. pilosa</i>	○	○		
242	クズ		<i>Pueraria lobata ssp. lobata</i>	○	○		○
243	ハリエンジュ		<i>Robinia pseudoacacia</i>	○	○	○	○
244	コマツブツメクサ		<i>Trifolium dubium</i>				○
245	ムラサキツメクサ		<i>Trifolium pratense</i>	○	○		○
246	シロツメクサ		<i>Trifolium repens</i>	○	○	○	○
247	ヤハスエントウ		<i>Vicia sativa ssp. nigra</i>		○	○	○
248	ヤブツルアズキ		<i>Vigna angularis var. nipponensis</i>	○	○		
249	フジ		<i>Wisteria floribunda</i>	○	○		○
250	クロウメモドキ		ケンボナシ	<i>Hovenia dulcis</i>	○	○	
251	ニレ	クヤキ	<i>Zelkova serrata</i>	○	○	○	○
252	アサ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i>	○	○		○

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リスト-令和元年度版-』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (7) 確認種 (植物 : 現地調査) (7/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期				
				夏季	秋季	早春季	春季	
253	アサ	カラハナソウ	<i>Humulus lupulus var. cordifolius</i>	○	○		○	
254		カナムクヅ	<i>Humulus scandens</i>	○	○			
255	クワ	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia monoica</i>	○	○			
256		ヤマクワ	<i>Morus australis</i>	○	○		○	
257	イラクサ	アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i>	○				
258		ウラボシソウ	<i>Elatostema involucreatum</i>	○				
259		ミス	<i>Pilea hamaoi</i>	○	○			
260		エゾイラクサ	<i>Urtica platyphylla</i>		○			
261	バラ	ヒメキンミズヒキ	<i>Agrimonia nipponica</i>	○	○	○	○	
262		キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa var. japonica</i>	○	○	○	○	
263		アズキナシ	<i>Aria alnifolia</i>		○		○	
264		ウラジロノキ	<i>Aria japonica</i>	○				
265		エドヒガン	<i>Cerasus itosakura</i>		○		○	
266		ヤマザクラ	<i>Cerasus jamasakura var. jamasakura</i>	○	○			
267		カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i>	○	○		○	
268		ヒワ	<i>Eriobotrya japonica</i>		○			
269		タニコソウ	<i>Geum japonicum</i>	○	○	○	○	
270		ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>	○				
271		ココメウツギ	<i>Neillia incisa</i>	○	○		○	
272		イヌザクラ	<i>Padus buergeriana</i>		○		○	
273		ウリミスザクラ	<i>Padus grayana</i>	○	○		○	
274		ヒメヘビイチゴ	<i>Potentilla centigrana</i>	○	○			
275		ミツハツチグサ	<i>Potentilla freyniana</i>	○	○		○	
276		ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebiichigo</i>		○			
277		ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i>	○				
278		カマツカ	<i>Pourthiaea villosa var. laevis</i>	○	○			
279		テリハノイバラ	<i>Rosa luciae</i>				○	
280		ノイバラ	<i>Rosa multiflora var. multiflora</i>	○	○	○	○	
281		ニカイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>	○	○		○	
282		モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i>	○	○		○	
283		ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>	○	○		○	
284		ブナ	クワ	<i>Castanea crenata</i>	○	○	○	○
285			アカガシ	<i>Quercus acuta</i>	○	○	○	○
286			シラカン	<i>Quercus myrsinifolia</i>	○	○	○	○
287			コナラ	<i>Quercus serrata ssp. serrata var. serrata</i>	○	○		○
288		クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica var. sachalinensis</i>	○	○		○
289		カハノキ	アカシテ	<i>Carpinus laxiflora</i>	○	○		
290	イヌシテ		<i>Carpinus tschonoskii</i>	○	○		○	
291	ハシハミ		<i>Corylus heterophylla var. heterophylla</i>	○	○			
292	ツバハミ		<i>Corylus sieboldiana var. sieboldiana</i>	○				
293	ウリ	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum var. pentaphyllum</i>	○	○		○	
294		アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	○	○			

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和元年度版ー』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (8) 確認種 (植物 : 現地調査) (8/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春季	春季
295	ウリ	キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> var. <i>japonica</i>	○	○		
296		スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i>	○	○		
297	ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>orbiculatus</i>	○	○		
298		コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliatodentatus</i>	○			○
299		マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>	○	○	○	○
300		ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>	○	○		○
301		マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>		○		○
302	カタハミ	イモカタハミ	<i>Oxalis articulata</i>	○	○		○
303		カタハミ	<i>Oxalis corniculata</i>	○	○		○
304		エゾタチカタハミ	<i>Oxalis stricta</i>	○	○		
305	トウタイクサ	エノキクサ	<i>Acalypha australis</i>	○	○		
306		コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>	○	○		
307		オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i>	○	○		
308		ナツトウダイ	<i>Euphorbia sieboldiana</i>				○
309	ミゾハコベ	ミゾハコベ	<i>Elatine triandra</i>	○	○		
310	ヤナギ	ヤマナラシ	<i>Populus tremula</i> var. <i>sieboldii</i>	○	○		
311		カワヤナギ	<i>Salix miyabeana</i> ssp. <i>gymnolepis</i>				○
312		オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i>		○		
313		キツネヤナギ	<i>Salix vulpina</i> ssp. <i>vulpina</i>	○	○		
314	スミレ	タチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> var. <i>grypoceras</i>	○	○	○	○
315		アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i>		○	○	
316		スミレ	<i>Viola mandshurica</i> var. <i>mandshurica</i>				○
317		ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>verecunda</i>	○	○		○
318		マキノスミレ	<i>Viola violacea</i> var. <i>makinoi</i>	○			○
319	フウロソウ	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>				○
320		ヒメフウロ	<i>Geranium robertianum</i>	○	○	○	○
321		ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>	○	○	○	○
322	ミソハギ	キカシクサ	<i>Rotala indica</i>	○	○		
323		ヒシ	<i>Trapa jeholensis</i>		○		
324	アカバナ	アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i>	○	○		
325		チョウジタテ	<i>Ludwigia epilobioides</i> ssp. <i>epilobioides</i>	○	○		
326		メマツヨイクサ	<i>Oenothera biennis</i>	○	○	○	○
327		ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i>	○			
328	ウルシ	スルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>	○	○		
329		ツタウルシ	<i>Toxicodendron orientale</i> ssp. <i>orientale</i>	○	○		○
330		ヤマウルシ	<i>Toxicodendron trichocarpum</i>	○	○		○
331	ムクロジ	ヤマモミジ	<i>Acer amoenum</i> var. <i>matsumurae</i>	○			
332	ミカン	コクサギ	<i>Orixa japonica</i>				○
333		サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>	○	○		○
334	ニカキ	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>	○	○		
335		ニカキ	<i>Picrasma quassioides</i>		○		
336	アオイ	タチアオイ	<i>Althaea rosea</i>	○	○	○	○

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リスト-令和元年度版-』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (9) 確認種 (植物 : 現地調査) (9/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期				
				夏季	秋季	早春季	春季	
337	アオイ	セニバアオイ	<i>Malva neglecta</i>	○				
338		シナノキ	<i>Tilia japonica var. japonica</i>	○				
339	アブラナ	カラシナ	<i>Brassica juncea</i>			○	○	
340		セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>			○	○	
341		ナスナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>	○		○	○	
342		タチタネツケバナ	<i>Cardamine fallax</i>				○	
343		ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>			○		
344		コンロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i>				○	
345		タネツケバナ	<i>Cardamine occulta</i>	○	○	○	○	
346		マメクソバ イナスナ	<i>Lepidium virginicum</i>	○	○			
347		イスカラス	<i>Rorippa indica</i>		○			
348		スカシタコボウ	<i>Rorippa palustris</i>	○	○		○	
349		タデ	ケイトドリ	<i>Fallopia japonica var. uzenensis</i>	○	○		○
350			ミスヒキ	<i>Persicaria filiformis</i>	○	○		
351	オオイヌタデ		<i>Persicaria lapathifolia var. lapathifolia</i>	○	○			
352	イヌタデ		<i>Persicaria longiseta</i>	○	○			
353	ヤノネガサ		<i>Persicaria muricata</i>		○			
354	サクラタデ		<i>Persicaria odorata ssp. conspicua</i>		○			
355	ハナタデ		<i>Persicaria posumbu</i>	○	○			
356	ミヅツハ		<i>Persicaria thunbergii var. thunbergii</i>	○	○		○	
357	ミチヤナギ		<i>Polygonum aviculare ssp. aviculare</i>	○	○			
358	ハイミチヤナギ		<i>Polygonum aviculare ssp. depressum</i>	○	○			
359	スイハ		<i>Rumex acetosa</i>	○	○	○	○	
360	ヒメスイハ		<i>Rumex acetosella ssp. pyrenaicus</i>	○		○	○	
361	ナカバネシキシ		<i>Rumex crispus</i>	○	○	○	○	
362	エゾノキシキシ		<i>Rumex obtusifolius</i>	○	○	○	○	
363	ナデシコ		ノミノツツリ	<i>Arenaria serpyllifolia var. serpyllifolia</i>				○
364		ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum ssp. vulgare var. angustifolium</i>	○		○	○	
365		オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>	○			○	
366		ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>			○	○	
367		アライツメクサ	<i>Sagina procumbens</i>				○	
368		ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>	○				
369		コハコベ	<i>Stellaria media</i>	○	○	○	○	
370		ノミノフスマ	<i>Stellaria uliginosa var. undulata</i>	○	○		○	
371	ヒユ	イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata var. japonica</i>	○	○			
372		ヒナタイノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata var. tomentosa</i>	○	○			
373		イヌヒユ	<i>Amaranthus blitum</i>	○				
374		シロザ	<i>Chenopodium album var. album</i>	○	○		○	
375		ウラジロアサ	<i>Oxybasis glauca</i>		○			
376	ヤマコホウ	ヨウシュヤマコホウ	<i>Phytolacca americana</i>	○	○			
377	スベリヒユ	スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>	○	○			
378	ミスギ	ウリノキ	<i>Alangium platanifolium f. macrophyllum</i>	○				

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和元年度版ー』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (10) 確認種 (植物: 現地調査) (10/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春季	春季
379	ミスギ	ミスギ	<i>Cornus controversa var. controversa</i>	○	○		○
380		ヤマボウシ	<i>Cornus kousa ssp. kousa</i>	○			○
381		クマノミスギ	<i>Cornus macrophylla</i>	○	○		○
382	アジサイ	イワカガミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i>		○		
383	サクラソウ	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica var. japonica</i>	○	○	○	○
384		オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>	○			
385	ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>	○	○	○	○
386		チャノキ	<i>Camellia sinensis var. sinensis</i>			○	○
387	ハイキ	サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i>		○		
388	エコノキ	エコノキ	<i>Styrax japonicus</i>	○	○		○
389	マタタビ	マタタビ	<i>Actinidia polygama</i>	○			
390	リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>		○		○
391	ツツジ	イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica var. japonica</i>	○	○	○	○
392		ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi var. kaempferi</i>	○	○	○	○
393		レンゲツツジ	<i>Rhododendron molle ssp. japonicum</i>	○	○		○
394	アオキ	アオキ	<i>Aucuba japonica var. japonica</i>	○	○	○	○
395	アカネ	キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i>	○			
396		オオハノヤエムグラ	<i>Galium pseudoasprellum</i>		○		
397		ヤエムグラ	<i>Galium spurium var. echinospermon</i>		○	○	○
398		ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i>				○
399		オククラムムグラ	<i>Galium trifloriforme</i>	○			
400		ヘクソカスラ	<i>Paederia foetida</i>	○	○		
401		アカネ	<i>Rubia argyi</i>	○	○		○
402		ハナヤエムグラ	<i>Sherardia arvensis</i>	○			
403	リントウ	ツルリントウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>	○	○		○
404	キョウチクトウ	イケマ	<i>Cynanchum caudatum</i>	○			
405		カガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>	○	○		
406		テイカカスラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	○	○	○	○
407		ツルニチチソウ	<i>Vinca major</i>	○	○	○	○
408	ヒルカオ	コヒルカオ	<i>Calystegia hederacea</i>	○			
409		ヒルカオ	<i>Calystegia pubescens</i>	○	○		
410	ナス	クコ	<i>Lycium chinense</i>	○	○		○
411		ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i>	○	○		
412		イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>	○	○		
413	ムラサキ	ノハラムラサキ	<i>Myosotis arvensis</i>	○			○
414		コンフリー	<i>Symphytum x uplandicum</i>	○	○		○
415		キューリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>				○
416	モクセイ	アオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa f. serrata</i>	○	○		○
417		イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium ssp. obtusifolium</i>	○	○		
418	オオハコ	キクモ	<i>Limnophila sessiliflora</i>	○	○		
419		キハナウソラン	<i>Linaria genistifolia ssp. dalmatica</i>	○	○	○	○
420		オオハコ	<i>Plantago asiatica var. asiatica</i>	○	○		○

※: 種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リスト-令和元年度版-』(国土交通省)に従った。

表 6.8-7 (11) 確認種 (植物: 現地調査) (11/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期				
				夏季	秋季	早春季	春季	
421	オオハコ	ヘラオオハコ	<i>Plantago lanceolata</i>	○	○	○	○	
422		タチヌノフクリ	<i>Veronica arvensis</i>				○	
423		ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i>				○	
424		オオイヌノフクリ	<i>Veronica persica</i>	○	○	○	○	
425		クカヅク	<i>Veronicastrum sibiricum f. glabratum</i>		○			
426	アゼナ	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i>	○	○			
427		アゼナ	<i>Lindernia procumbens</i>	○				
428		タケトアゼナ	<i>Lindernia sp.</i>	○	○			
429	シソ	ニシキコノモ	<i>Ajuga yesoensis var. yesoensis</i>				○	
430		ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica var. japonica</i>	○	○		○	
431		ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i>				○	
432		クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>	○	○			
433		ナギナタコウシュ	<i>Elsholtzia ciliata</i>		○			
434		カキトオシ	<i>Glechoma hederacea ssp. grandis</i>	○	○	○	○	
435		ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i>		○			
436		オドリコソウ	<i>Lamium album var. barbatum</i>				○	
437		ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>			○	○	
438		ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>		○	○	○	
439		コシロネ	<i>Lycopus cavaleriei</i>	○				
440		エゾシロネ	<i>Lycopus uniflorus</i>	○	○			
441		ヒメシソ	<i>Mosla dianthera</i>	○	○	○		
442		イヌコウシュ	<i>Mosla scabra</i>		○			
443		シソ	<i>Perilla frutescens var. crispa</i>	○	○			
444		キハナアキギリ	<i>Salvia nipponica var. nipponica</i>	○	○		○	
445		ニカクサ	<i>Teucrium japonicum</i>	○				
446		サギコケ	ムラサキシキブコケ	<i>Mazus miquelii</i>	○			○
447		ハエトクソウ	ナカハハエトクソウ	<i>Phryma oblongifolia</i>	○	○		
448		キリ	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>	○	○		
449	クマツヅラ	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>		○			
450	モチノキ	イヌツゲ	<i>Ilex crenata var. crenata</i>	○	○	○	○	
451		アオハダ	<i>Ilex macropoda</i>	○	○		○	
452		ウメモトキ	<i>Ilex serrata</i>	○	○			
453	キキョウ	ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i>	○			○	
454		ミゾカクシ	<i>Lobelia chinensis</i>	○	○			
455		タニギキョウ	<i>Peracarpa carnosus var. carnosus</i>				○	
456	キク	オクモシバクマ	<i>Ainsliaea acerifolia var. subapoda</i>	○	○		○	
457		キッコウハクマ	<i>Ainsliaea apiculata</i>	○	○		○	
458		ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>	○	○			
459		ヨモギ	<i>Artemisia indica var. maximowiczii</i>	○	○	○	○	
460		ユウガキク	<i>Aster iinumae</i>	○	○			
461		ノコンギク	<i>Aster microcephalus var. ovatus</i>	○	○			
462		シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>	○	○			

※: 種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リスト-令和元年度版-』(国土交通省)に従った。

表 6.8-7 (12) 確認種 (植物 : 現地調査) (12/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春季	春季
463	キク	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	○	○		
464		コセンダングサ	<i>Bidens pilosa var. pilosa</i>	○	○		
465		タウコギ	<i>Bidens tripartita</i>	○	○		
466		ヒメキンセンカ	<i>Calendula arvensis</i>		○	○	○
467		ヤブタバコ	<i>Carpesium abrotanoides</i>	○			
468		サジガクソウ	<i>Carpesium glossophyllum</i>	○	○	○	○
469		トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>	○	○		
470		タキハヒメアザミ	<i>Cirsium amplexifolium</i>	○			
471		ノアザミ	<i>Cirsium japonicum var. japonicum</i>	○			
472		マツシマアザミ	<i>Cirsium sendaicum</i>	○	○		
473		アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i>	○			
474		オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	○			○
475		コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>		○		
476		ベニバナホロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>	○	○		
477		タンドホロギク	<i>Erechtites hieraciifolius var. hieraciifolius</i>		○		
478		ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>	○	○	○	○
479		ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>	○	○		
480		ハルジョオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	○	○	○	○
481		オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i>	○	○		
482		オオヒヨドリハナ	<i>Eupatorium makinoi var. oppositifolium</i>	○	○		
483		ハキタメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>	○	○		
484		チチコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i>	○			
485		キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>	○	○		
486		ヒメフタナ	<i>Hypochaeris glabra</i>	○	○		○
487		フタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>	○	○		○
488		ニカナ	<i>Ixeridium dentatum ssp. dentatum</i>	○			○
489		オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i>		○		○
490		アキノゲシ	<i>Lactuca indica var. indica</i>	○	○		
491		ヤマニガナ	<i>Lactuca raddeana var. elata</i>	○			
492		トゲチヤ	<i>Lactuca serriola</i>	○			
493	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>	○	○		○	
494	マルハダケアザミ	<i>Ligularia dentata</i>				○	
495	アキアザミ	<i>Petasites japonicus var. giganteus</i>	○				
496	アザミ	<i>Petasites japonicus var. japonicus</i>	○	○	○	○	
497	コウゾリナ	<i>Picris hieracioides ssp. japonica var. japonica</i>	○	○		○	
498	ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i>	○	○	○	○	
499	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>		○			
500	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>	○	○	○	○	
501	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	○	○	○	○	
502	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea ssp. serotina</i>	○	○			
503	アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea ssp. asiatica var. asiatica</i>	○	○		○	
504	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>	○	○	○	○	

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リスト-令和元年度版-』（国土交通省）に従った。

表 6.8-7 (13) 確認種 (植物 : 現地調査) (13/13)

No	科名	種名*	学名	確認時期			
				夏季	秋季	早春季	春季
505	キク	ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>	○	○	○	○
506		セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>	○	○	○	○
507		エゾタンポポ	<i>Taraxacum venustum ssp. venustum</i>				○
508		オオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>		○		
509		オニタビラコ(広義)	<i>Youngia japonica</i>				○
510	ウコキ	ウト	<i>Aralia cordata</i>	○	○		○
511		タラノキ	<i>Aralia elata</i>	○	○		
512		コシアブラ	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i>	○	○		○
513		カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i>	○		○	○
514		ヤマウコキ	<i>Eleutherococcus spinosus var. spinosus</i>	○	○		
515		ヤツデ	<i>Fatsia japonica var. japonica</i>	○	○	○	○
516		キツタ	<i>Hedera rhombea</i>	○	○	○	○
517		オオチトメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>	○	○		○
518		ハリギリ	<i>Kalopanax septemlobus ssp. septemlobus</i>	○	○		
519	セリ	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i>	○	○	○	○
520		シャク	<i>Anthriscus sylvestris</i>			○	○
521		セントウソク	<i>Chamaele decumbens</i>	○	○	○	
522		ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>	○	○		
523		オオハナウド	<i>Heracleum sphondylium ssp. montanum</i>				○
524		セリ	<i>Oenanthe javanica ssp. javanica</i>	○	○	○	○
525		ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata var. aristata</i>	○	○		○
526		ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i>	○	○		○
527		カノツメクサ	<i>Spuriopimpinella calycina</i>	○	○		○
528		ヤブシラミ	<i>Torilis japonica</i>	○			
529		オヤブシラミ	<i>Torilis scabra</i>	○			
530	カマスミ	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa ssp. sieboldiana var. sieboldiana</i>	○	○	○	○
531		カマスミ	<i>Viburnum dilatatum</i>	○	○		○
532		オトコウツメ	<i>Viburnum phlebotrichum</i>	○			
533		ヤブテマリ	<i>Viburnum plicatum var. tomentosum</i>	○	○		
534		ミヤマカマスミ	<i>Viburnum wrightii var. wrightii</i>	○	○		○
535	スィスラ	ウコツクハネツギ	<i>Abelia spathulata var. stenophylla</i>	○			
536		ヤマウケイソク	<i>Lonicera gracilipes var. gracilipes</i>	○	○	○	○
537		スィスラ	<i>Lonicera japonica</i>	○	○	○	○
計	115 科	537 種	-	408 種	387 種	130 種	263 種

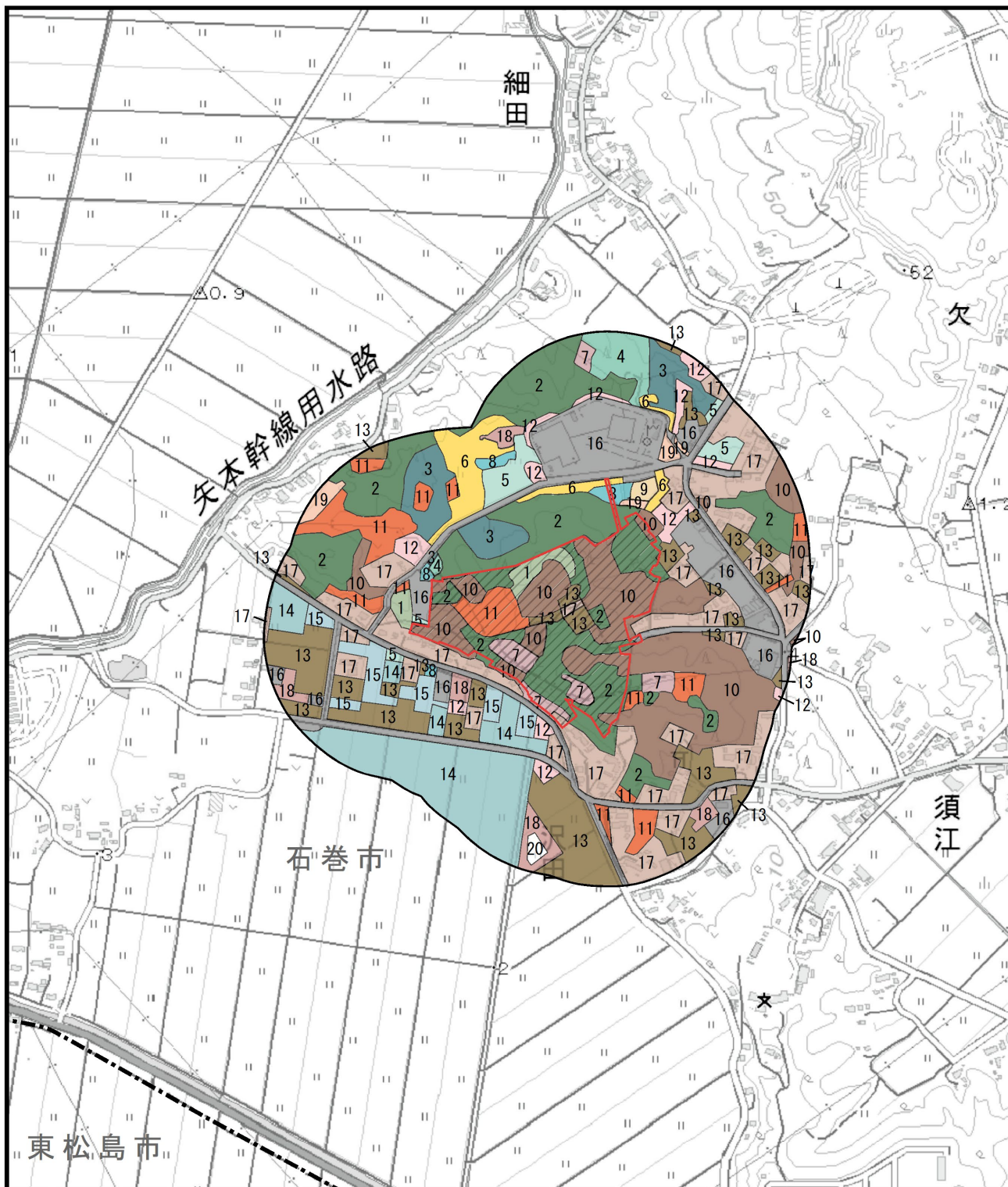
※：種名、学名及び分類等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リスト-令和元年度版-』（国土交通省）に従った。

② 植生の状況
















調査結果に基づき作成した植生図は図 6.8-4、群落組成調査地点は図 6.8-5、群落組成表は表 6.8-8、群落別面積一覧表は表 6.8-9、植物群落概要表は表 6.8-10(1)～(15)に示すとおりである。現地調査の結果、調査範囲の群落及び土地利用形式は20区分となった。

調査範囲は宮城県の東部に位置し、標高は10～27mである。当該地域は気候帯から見ると暖温帯に属する。調査範囲においては、ヤブツバキクラス域とブナクラス域の移行帯に位置し、その植生はヤブツバキクラス域植生とブナクラス域植生の中間的なものとなっている。しかし、コナラ群落等の二次林やスギ、竹等の植林、耕作地等の代償植生や人的利用地が面積の大半を占めている。

調査範囲内の植生分布をみると、対象事業実施区域内はコナラ群落、スギ・ヒノキ・サワラ植林が広く分布しており、中央付近にはアオハダ-モミ群落、畑雑草群落等が分布していた。対象事業実施区域外では、水田雑草群落、コナラ群落、ススキ群落、クズ群落等が見られた他、市街地や緑の多い住宅地が確認された。



凡例

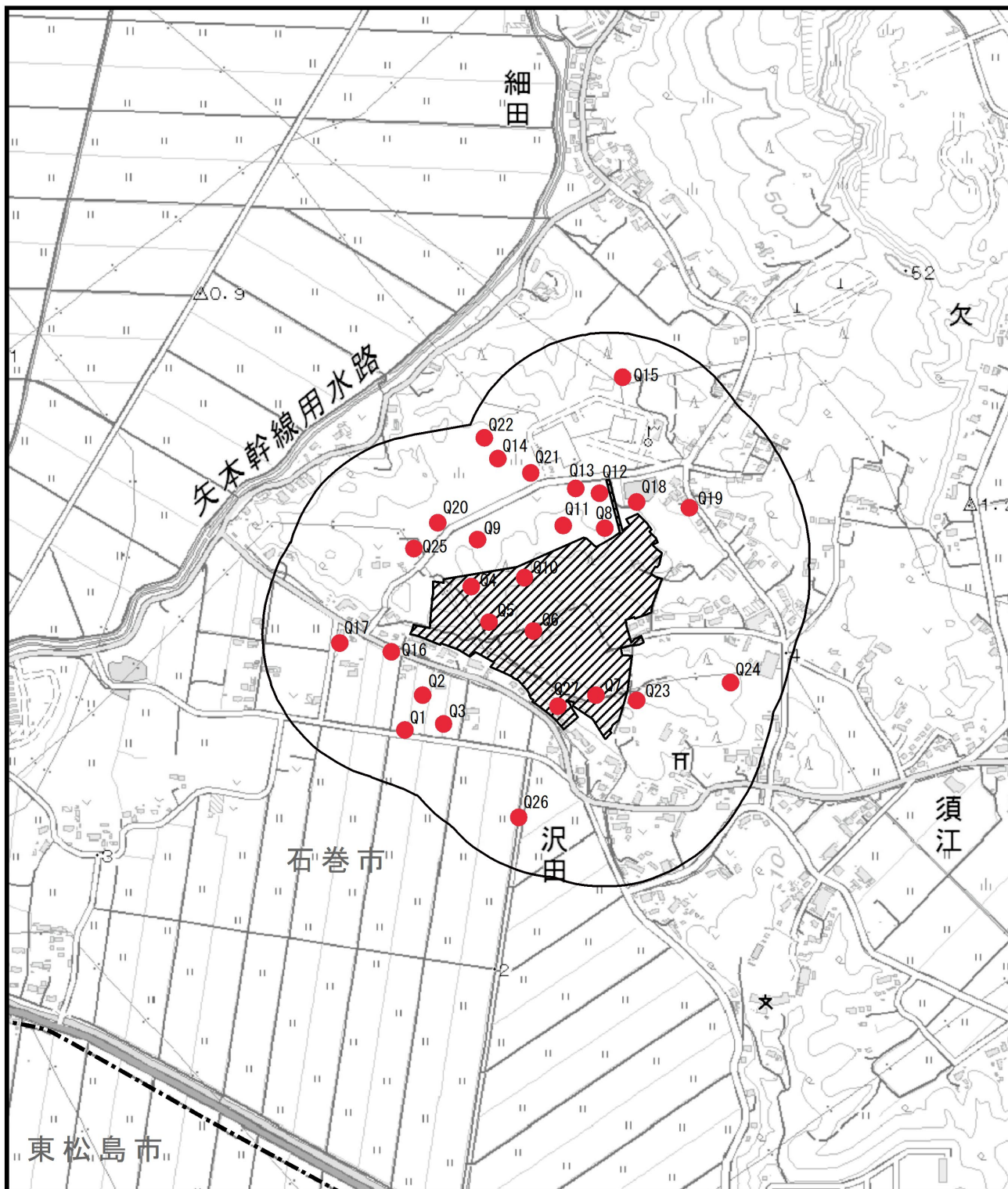
- | | | | | | |
|---|---------------------|---|---------------|---|------------|
|  | : 対象事業実施区域 |  | : クス群落 |  | : 畑雑草群落 |
|  | : 市境界線 |  | : ススキ群団 |  | : 水田雑草群落 |
|  | : 対象事業実施区域から250mの範囲 |  | : 伐採跡地群落 |  | : 放棄水田雑草群落 |
|  | : アハグモ群落 |  | : ヨシ群落(二次) |  | : 道路・市街地 |
|  | : コナ群落 |  | : ヒナマ群落 |  | : 緑の多い住宅地 |
|  | : ホケル群落 |  | : スギ・ヒノキ・サウ植林 |  | : 造成地 |
|  | : アスマナサ群落 |  | : 竹林 |  | : 人工緑地 |
| | |  | : 路傍・空地雑草群落 |  | : 開放水域 |







S=1:10,000

0 100 200 400m

図 6.8-4 植生図



凡例

-  : 対象事業実施区域
-  : 市境界線
-  : 対象事業実施区域から250mの範囲
-  : 群落組成調査地点



S=1:10,000

0 100 200 400m

図 6.8-5
群落組成調査地点位置図

表 6.8-8 群落組成表（群落別の群落高及び階層別主要構成種）

No.	植物群落名	群落組成 調査地点番号*	群落高 (m)	主要構成種
1	アオハダ-モミ群落	Q10	15	高木層：モミ、コナラ、カスミザクラ 亜高木層：モミ、シロダモ、ヤブツバキ、フジ 低木層：ヤブツバキ、アオキ、モミ、シロダモ、フジ、アワブキ 草本層：ホソバナライシダ、キッコウハグマ、ジャノヒゲ、オクマワラビ
2	コナラ群集	Q7、Q8、Q11	14~15	高木層：コナラ、クリ、イヌシデ、ホオノキ、カスミザクラ 亜高木層：アオハダ、ホオノキ、フジ、カスミザクラ、アワブキ 低木層：アズマネザサ、ヤマウグイスカズラ、ヤマツツジ、モミ、アオキ 草本層：チゴユリ、タガネソウ、コチヂミザサ、ホソバナライシダ
3	オニグルミ群落	Q9、Q20	7~12	高木層：オニグルミ、ミズキ、スギ、フジ 低木層：アズマネザサ、フジ、ヤマノイモ、アズマザサ、ノイバラ 草本層：カキドオシ、アマチャヅル、アカネ、スギナ、ミズヒキ
4	アズマネザサ群落	Q15	2.5	低木層：アズマネザサ 草本層：コナラ、ウワミズザクラ
5	クズ群落	Q16、Q21	1~1.5	草本層：クズ、セイタカアワダチソウ、ススキ、ヘビイチゴ、スズメウリ
6	ススキ群団	Q13、Q22	1.5~2.3	草本第一層：ススキ、セイタカアワダチソウ、ヨシ、スギナ、ヤマナラシ 草本第二層：ハリエンジュ、セイタカアワダチソウ、ススキ、アカマツ
7	伐採跡地群落	Q27	1.7	低木層：タラノキ、コナラ、ヨウシュヤマゴボウ、ヤマザクラ、フジ 草本層：コナラ、サンショウ、ジャノヒゲ
8	ヨシ群落（二次）	Q12、Q14	1.3~1.5	草本層：ヨシ、セイタカアワダチソウ、ヒメガマ、ミゾソバ、ヤイトバナ
9	ヒメガマ群落	Q18	1	草本層：ヒメガマ、アメリカセンダングサ、ミゾソバ
10	スギ・ヒノキ ・サワラ植林	Q4、Q6、Q24	9~22	高木層：スギ 亜高木層：スギ、マダケ、ツタウルシ、キヅタ 低木層：アオキ、コナラ、シロダモ、ヤブツバキ、キヅタ、モミ、スギ 草本層：ホソバナライシダ、イワシロイノデ、ツタウルシ、ジャノヒゲ
11	竹林	Q5、Q23	9~14	高木層：マダケ、モウソウチク、スギ 亜高木層：フジ、モウソウチク 低木層：アオキ、マダケ、ヤブツバキ、オニドコロ、モウソウチク 草本層：シロダモ、ヤブツバキ、キヅタ、ジャノヒゲ、ホソバナライシダ
12	路傍・空地雑草 群落	Q19、Q25	0.4~0.5	草本層：メヒシバ、セイタカアワダチソウ、ヨモギ、ヒメジョオン
13	畑雑草群落	Q1	1.5	草本第一層：トウモロコシ（栽培作物） 草本第二層：スベリヒユ、イヌビエ、スギナ、シロザ、イヌビユ
14	水田雑草群落	Q3、Q17	0.5~0.6	草本第一層：イネ（栽培作物） 草本第二層：イボクサ、セリ、アメリカアゼナ、コウキクサ、スギナ
15	放棄水田雑草群落	Q2、Q26	0.4	草本層：セリ、コブナグサ、イネ科の一種、イヌビエ、イヌタデ
16	道路・市街地	-	-	-
17	緑の多い住宅地	-	-	-
18	造成地	-	-	-
19	人工緑地	-	-	-
20	開放水域	-	-	-

※：群落組成調査地点番号は、図 6.8-5に対応している。

表 6.8-9 群落別面積一覧表

No.	群落名	対象事業実施区域内		対象事業実施区域外		調査範囲	
		面積 (ha)	占有率 (%)	面積 (ha)	占有率 (%)	面積 (ha)	占有率 (%)
1	アオハダ-モミ群落	0.33	4.03	0.21	0.39	0.53	0.87
2	コナラ群集	2.89	35.53	7.63	14.34	10.52	17.15
3	オニグルミ群落	0.00	0.00	2.10	3.95	2.10	3.43
4	アズマネザサ群落	0.00	0.00	0.90	1.68	0.90	1.46
5	クズ群落	0.00	0.00	0.90	1.70	0.90	1.47
6	ススキ群団	0.01	0.08	1.56	2.93	1.57	2.56
7	伐採跡地群落	0.54	6.67	0.35	0.66	0.90	1.46
8	ヨシ群落 (二次)	0.02	0.26	0.35	0.67	0.38	0.61
9	ヒメガマ群落	0.00	0.00	0.14	0.27	0.14	0.24
10	スギ・ヒノキ・サワラ植林	3.25	39.96	5.03	9.45	8.28	13.50
11	竹林	0.66	8.15	2.28	4.28	2.94	4.80
12	路傍・空地雑草群落	0.00	0.00	1.31	2.46	1.31	2.13
13	畑雑草群落	0.32	3.98	5.94	11.16	6.26	10.20
14	水田雑草群落	0.00	0.00	5.08	9.55	5.08	8.28
15	放棄水田雑草群落	0.00	0.00	1.24	2.33	1.24	2.02
16	道路・市街地	0.01	0.14	8.42	15.82	8.43	13.74
17	緑の多い住宅地	0.10	1.19	8.27	15.55	8.37	13.65
18	造成地	0.00	0.00	0.98	1.85	0.98	1.60
19	人工緑地	0.00	0.00	0.39	0.74	0.39	0.64
20	開放水域	0.00	0.00	0.11	0.21	0.11	0.19
合計		8.14	100.00	53.20	100.00	61.34	100.00

※：面積は群落毎に四捨五入しているため、合計が合わない。

表 6.8-10(1) 植物群落概要表 (アオハダ-モミ群落)

植生図凡例	アオハダ-モミ群落
群落組成調査地点	Q10
模式断面図 (Q10)	
群落概要	ヤブツバキクラス域における寡雪地の低山地に成立する針広混交林。クリ、コナラ等の広葉樹とモミの大径木が混生する。
分布状況	対象事業実施区域中央と対象事業実施区域外西部に分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 15m で、高木層にはモミが優占する他、コナラやカスミザクラが生育していた。亜高木層にはモミ等がみられ、低木層にはヤブツバキやアオキ等がみられた。草本層にはホソバナライシダやキッコウハグマ等がみられた。確認種数は 29 種であった。

表 6.8-10(2) 植物群落概要表 (コナラ群落)

植生図凡例	コナラ群落
群落組成調査地点	Q7、Q8、Q11
模式断面図 (Q7)	
群落概要	コナラが優占する落葉高木群落であり、低地から山地にかけて広く成立する。里山の代表的な二次林である。
分布状況	対象事業実施区域内外に広く分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 14~15m で、高木層にはコナラが優占する他、クリやイヌシデ等が生育していた。亜高木層にはアオハダやホオノキ等がみられ、低木層にはアズマネザサ、モミ、アオキ等がみられた。草本層にはキッコウハグマ、チゴユリ、タガネソウ等がみられた。確認種数は 41~60 種であった。

表 6.8-10(3) 植物群落概要表 (オニグルミ群落)

植生図凡例	オニグルミ群落
群落組成調査地点	Q9、Q20
模式断面図 (Q9)	
群落概要	ブナクラス域からヤブツバキクラス域にかけての溪畔や河岸に成立する落葉広葉樹の半自然林。
分布状況	対象事業実施区域西部と対象事業実施区域外北部に分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 7~12m で、高木層にはオニグルミが優占する他、ミズキやスギが生息していた。低木層にはアズマネザサ、アズマザサ等がみられ、草本層にはカキドオシ等がみられた。確認種数は 19~24 種であった。

表 6.8-10(4) 植物群落概要表 (アズマネザサ群落)

植生図凡例	アズマネザサ群落
群落組成調査地点	Q15
模式断面図 (Q15)	
群落概要	アズマネザサが優占するタケ群落で、低山や丘陵地に広く成立する。
分布状況	対象事業実施区域外北部に分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 2.5m で、低木層にはアズマネザサが優占しており、草本層にはコナラ、ウワミズザクラが生育していた。確認種数は 3 種であった。

表 6.8-10(5) 植物群落概要表 (クズ群落)

植生図凡例	クズ群落
群落組成調査地点	Q16、Q21
模式断面図 (Q21)	
群落概要	クズが優占するつる性の多年生草本群落で、河川の堤防斜面、河川敷、畑地脇、路傍等の富栄養な場所に成立する。
分布状況	対象事業実施区域外周辺に点在していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約1~1.5mで、草本層にはクズが優占する他、セイタカアワダチソウ、ススキ、ヘビイチゴ等が生育していた。確認種数は4~8種であった。

表 6.8-10(6) 植物群落概要表 (ススキ群団)

植生図凡例	ススキ群団
群落組成調査地点	Q13、Q22
模式断面図 (Q13)	
群落概要	ススキが優占する多年生草本群落で、山野や伐採跡地、古い法面、造成地等にも二次草原として成立する。
分布状況	対象事業実施区域林縁部や対象事業実施区域外北西部に分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約1.5~2.3mで、草本第一層にはススキが優占する他、セイタカアワダチソウ、オギ、スギナ等が生育していた。草本第二層にはハリエンジュ、セイタカアワダチソウ、ススキ等がみられた。確認種数は9~11種であった。

表 6.8-10(7) 植物群落概要表 (伐採跡地群落)

植生図凡例	伐採跡地群落
群落組成調査地点	Q27
模式断面図 (Q27)	
群落概要	森林の伐採跡地に形成された草本群落、または高さ 1 m 前後の落葉広葉低木群落。
分布状況	対象事業実施区域南西部に点在していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 1.7m で、低木層にはタラノキ、コナラ、ヨウシュヤマゴボウ等が生育していた。草本層には、コナラ、サンショウ、ジャノヒゲがみられた。確認種数は 13 種であった。

表 6.8-10(8) 植物群落概要表 (ヨシ群落 (二次))

植生図凡例	ヨシ群落 (二次)
群落組成調査地点	Q12、Q14
模式断面図 (Q12)	
群落概要	ヨシが優占する湿地性の多年生草本群落で、湖沼や河川、湿地に成立する。水田放棄地、河畔の造成地等富栄養化した湿性地上にも成立する。
分布状況	対象事業実施区域外西部に点在していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 1.3~1.5m で、草本層にはヨシが優占する他、セイタカアワダチソウ、ミゾソバ、ヤイトバナ等が生育していた。確認種数は 6~11 種であった。

表 6.8-10(9) 植物群落概要表 (ヒメガマ群落)

植生図凡例	ヒメガマ群落
群落組成調査地点	Q18
模式断面図 (Q18)	
群落概要	ヒメガマが優占する群落。
分布状況	対象事業実施区域外北部のため池に分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 1m で、草本層にはヒメガマが優占する他、アメリカセンダングサ、ミゾソバが生育していた。確認種数は 3 種であった。

表 6.8-10(10) 植物群落概要表 (スギ・ヒノキ・サワラ植林)

植生図凡例	スギ・ヒノキ・サワラ植林
群落組成調査地点	Q4、Q6、Q24
模式断面図 (Q6)	
群落概要	常緑針葉樹のスギ、ヒノキ、またはサワラの植林。単独で植栽されることが多いが混植も多い。
分布状況	対象事業実施区域中央から東部にかけて、対象事業実施区域外東部に広く分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 9~22m で、高木層にはスギが生育していた。亜高木層にはスギ、マダケ、ツタウルシ等がみられ、低木層にはアオキ、コナラ等がみられた。草本層にはホソバナライシダ、ドクダミ、イワシロイノデ等がみられた。確認種数は 12~40 種であった。

表 6.8-10(11) 植物群落概要表 (竹林)

植生図凡例	竹林
群落組成調査地点	Q5、Q23
模式断面図 (Q23)	
群落概要	主としてヤブツバキクラス域に植栽される竹林。河岸や人家付近の台地脚部等に小面積で分布する。
分布状況	対象事業実施区域中央や対象事業実施区域外西部に点在していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約9~14mで、高木層にはマダケ、モウソウチク、スギが生育していた。亜高木層にはフジやモウソウチクがみられ、低木層にはアオキ、マダケ等がみられた。草本層にはシロダモ、ヤブツバキ、キツタ等がみられた。確認種数は13~15種であった。

表 6.8-10(12) 植物群落概要表 (路傍・空地雑草群落)

植生図凡例	路傍・空地雑草群落
群落組成調査地点	Q19、Q25
模式断面図 (Q19)	
群落概要	都市と周辺域の空地や造成地に成立する高さ概ね1m以下の草本群落。
分布状況	対象事業実施区域北部と対象事業実施区域外周辺に点在していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約0.4~0.5mで、草本層にはメヒシバ、オニウシノゲサ、セイタカアワダチソウ等が生育していた。

表 6.8-10(13) 植物群落概要表 (畑雑草群落)

植生図凡例	畑雑草群落
群落組成調査地点	Q1
模式断面図 (Q1)	
群落概要	畑地に成立する、陽地性の低茎草本で構成された群落である。
分布状況	対象事業実施区域内外に点在していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 1.5m で、草本第一層にはトウモロコシ (栽培作物) が生育していた。草本第二層にはスベリヒユ、イヌビエ、スギナ等がみられた。確認種数は 7 種であった。

表 6.8-10(14) 植物群落概要表 (水田雑草群落)

植生図凡例	水田雑草群落
群落組成調査地点	Q3、Q17
模式断面図 (Q17)	
群落概要	水田に成立する、湿潤な環境を好む草本類から構成された群落である。
分布状況	対象事業実施区域外南西部に分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 0.5~0.6m で、草本第一層にはイネ (栽培作物) が生育していた。草本第二層にはイボクサ、セリ、アメリカアゼナ等がみられた。確認種数は 6~11 種であった。

表 6.8-10(15) 植物群落概要表 (放棄水田雑草群落)

植生図凡例	放棄水田雑草群落
群落組成調査地点	Q2、Q26
模式断面図 (Q26)	
群落概要	水田放棄地に成立する、主に一年生草本で構成された群落である。
分布状況	対象事業実施区域外南西部の水田周辺に分布していた。
群落構造・組成	今回調査を行った地点の群落高は約 0.4m で、草本層にはセリ、コブナグサ、イネ科の一種が生育していた。確認種数は 11~12 種であった。

③ 重要な植物種及び植物群落の分布、生育の概要及び生育環境の状況

a) 重要な植物種

現地調査で確認された植物種のうち、表 6.8-12に示す基準に該当する重要な植物種は、表 6.8-11に示すとおり 1 科 1 種であった。重要な植物種の特性及び確認状況は、表 6.8-13及び図 6.8-6に示すとおりである。

表 6.8-11 重要な植物種（植物：現地調査）

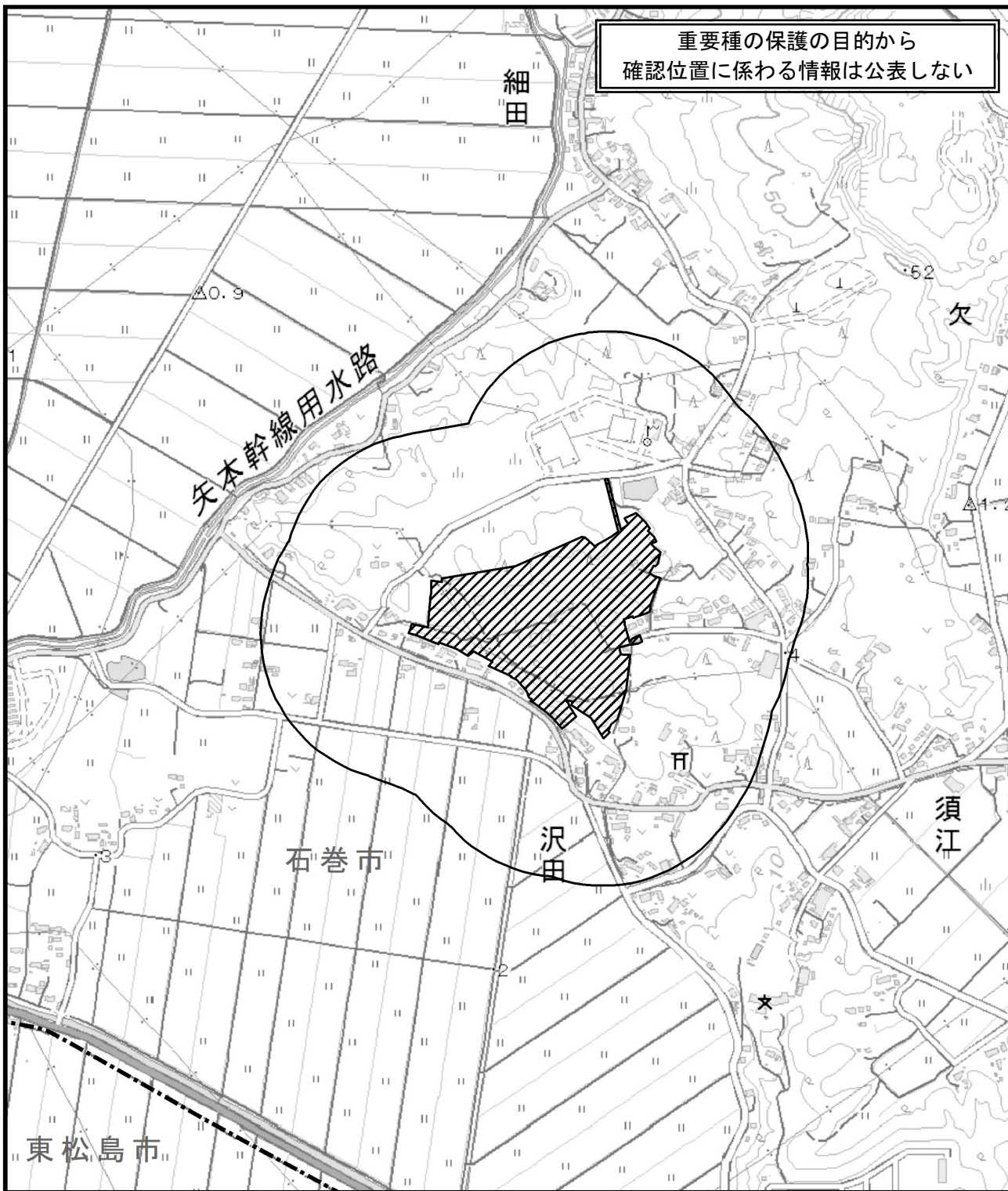
No.	綱名	科名	種名*	確認時期								注目すべき種選定基準			
				夏季		秋季		冬季		春季		I	II	III	IV
				内	外	内	外	内	外	内	外				
1	単子葉植物	ヒロムシロ	ホソバミズヒキモ											VU	
計	1 綱	1 科	1 種									0 種	0 種	0 種	1 種

※：種名、学名及び分類順等は、『河川水辺の国勢調査のための生物リストー令和元年度版一』（国土交通省）に従った。





表 6.8-12 重要種の選定基準

選定基準	番号	説明
(I) 『文化財保護法』（昭和 25 年法律第 214 号）	特天	『文化財保護法』（昭和 25 年法律第 214 号）における特別天然記念物
	天	『文化財保護法』（昭和 25 年法律第 214 号）における天然記念物
(II) 『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成 4 年法律第 75 号）	国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成 4 年法律第 75 号）における国内希少野生動植物
	国際	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成 4 年法律第 75 号）における国際希少野生動植物
(III) 「環境省報道発表資料 環境省レッドリスト 2020」（環境省、2020 年 3 月）の掲載種	EX	絶滅
	EW	野生絶滅
	CR+CN	絶滅危惧 I 類
	CR	絶滅危惧 I A 類
	EN	絶滅危惧 I B 類
	VU	絶滅危惧 II 類
	NT	準絶滅危惧
	DD	情報不足
(IV) 『宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物－RED DATA BOOK MIYAGI 2016－』（宮城県、2016 年）の掲載種	EX	絶滅
	EW	野生絶滅
	CR+EN	絶滅危惧 I 類
	VU	絶滅危惧 II 類
	NT	準絶滅危惧
	DD	情報不足
	LP	絶滅の恐れのある地域個体群
要	要注目種	

重要種の保護の目的から
確認位置に係わる情報は公表しない



凡例

-  : 対象事業実施区域
-  : 市境界線
-  : 対象事業実施区域から250mの範囲
-  : 重要な植物種の確認位置



S=1:10,000

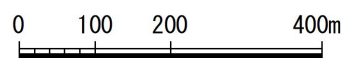


図 6.8-6
重要な植物種の確認位置図
(全季)

表 6.8-13 重要な植物種の特性及び確認状況（ホソバミズヒキモ）

種名		ホソバミズヒキモ			
重要な植物種 選定基準	文化財保護法	—		種の保存法	—
	環境省 RDB	—		宮城県 RL	VU
種の特性 (※)	全国分布	北海道～沖縄。			
	形態	ヒルムシロ科ヒルムシロ属の沈水または浮葉植物。沈水葉は線形で長さ 3-5cm、幅 0.3-1mm、1 脈、鋭尖頭。浮葉は長楕円形で明るい黄緑色、長さ 1.5-3cm、幅 4-10mm。花期は 6-9 月。花茎は 12-20mm、花穂は長さ 9-13mm、花は間隔をあけて 3-4 段につき、4 心皮。果実は長さ約 2.5mm、背稜に数個の低い突起のあるものからほとんどないものまである。6 月頃から秋にかけて各葉腋に長さ 1cm 前後の殖芽を形成し、これが栄養繁殖及び越冬の手段となる。			
	生息場所	ため池や河川、水路等に生息。			
現地確認状況	対象事業実施区域内		対象事業実施区域外		
	地点数	個体(確認)数	地点数	個体(確認)数	
	0	0	1	多数	
	夏季及び秋季調査において、 XXXXXXXXXX に多数生息していることを確認した。				

※「日本の水草」（文一総合出版、2018 年）

b) 重要な植物群落

現地調査の結果、対象事業実施区域及びその周辺の調査範囲内において、「第3回自然環境保全基礎調査」（環境庁、1989年）で指定されている特定植物群落や「宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物-RED DATA BOOK MIYAGI 2016-」（宮城県、2016年）に掲載された植物群落は存在しなかった。

6.8.2. 予測

(1) 工事の実施による影響（造成等の施工による一時的な影響）及び土地又は工作物の存在及び供用による影響（火力発電所の存在）

ア 予測内容

予測内容は、工事の実施による影響（造成等の施工による一時的な影響）及び土地又は工作物の存在及び供用による影響（火力発電所の存在）による重要な植物種及び植物群落への影響とした。

イ 予測地域等

予測地域等は、「6.8.1 現況調査（3）調査地域等 イ 現地調査」に示す調査地域と同様とする（表 6.8-4及び図 6.8-1参照）。

ウ 予測対象時期

予測対象時期は、造成工事が最大となる時期及び定常的な事業活動となる時期とした。

エ 予測方法

予測方法は、重要な植物種及び植物群落と工事計画との重合せにより予測した。

オ 予測結果

① 重要な植物種

現地調査で確認された重要な植物種1種について、事業が及ぼす影響を表 6.8-14に示すとおり、影響要因の区分ごとに予測した。

表 6.8-14 重要な植物種への予測影響結果（ホソバミズヒキモ）

種名		ホソバミズヒキモ			
重要な植物種 選定基準	文化財保護法	—		種の保存法	—
	環境省 RDB	—		宮城県 RL	VU
現 地 確 認	対象事業実施区域内			対象事業実施区域外	
	地点数	個体(確認)数		地点数	個体(確認)数
	0	0		1	多数
	[Redacted]				
予 測 結 果	変更区域内			変更区域外	
	地点数	個体(確認)数		地点数	個体(確認)数
	0	0		1	多数
	<p>・<u>工事の実施による影響</u>：本種の生息環境は水域であるため、建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による影響はないと予測する。また、造成等の施工による一時的な影響により、水路への濁水の流入の可能性が考えられるが、工事中は仮沈砂池の設置により濁水の流入を最小限に抑えることが可能である。よって、工事の実施が本種に与える影響は小さいと予測する。</p> <p>・<u>土地又は工作物の存在及び供用による影響</u>：施設の供用後も水路への濁水の流入等の可能性が考えられるが、事業排水は下水道へ排水し、雨水等は調整池の設置により濁水の流入を最小限に抑えることが可能である。よって、本種に与える土地又は工作物の存在及び供用による影響は小さいと予測する。</p>				

② 重要な植物群落

重要な植物群落は対象事業実施区域及びその周辺で確認されなかったため、予測は行わなかった。

6.8.3. 評価

(1) 工事の実施による影響（造成等の施工による一時的な影響）

ア 回避・低減に係る評価

① 評価方法

評価方法は、予測結果を踏まえ、造成等の施工に伴う重要な植物種及び植物群落への影響が、実行可能な範囲で回避・低減が図られているかを評価するものとする。

② 評価結果

工事中における造成等の施工に伴う植物への環境影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

●濁水の流出防止

- ・造成時は、仮沈砂池を設置し、濁水対策を図るほか、仮沈砂池に堆積した土砂は適宜除去する。造成後のプラント建設工事では、本設後の調整池を活用し運用する。
- ・造成後の裸地については、速やかに転圧を施すなどの工事計画を立てることにより、濁水発生を抑制する。
- ・長期間の裸地となることで土砂の流出の可能性が生じた場合には、必要に応じてシート等で覆うことや仮設柵を設置する等の対策を行う。
- ・掘削後の仮置き土砂は、必要に応じてシート等で覆い濁水発生を抑制に努める。

●その他配慮

- ・切盛土工による不用意な土砂の流入を防止するため、仮沈砂池へ導水するよう必要に応じて土のう等を設け、残置緑地の林床破壊を起こさないように留意する。
- ・工事関係者等に対して改変区域外への必要以上の立ち入りを制限し、樹林地の踏み荒らし等が無いよう、樹林地の保全に努める。

上記に示すように、環境保全措置として、濁水の流出防止、その他配慮（土砂流出防止、樹林地の保全）を実行することにより、植物への影響の抑制が図られていることから、工事中における造成等の施工に伴う植物への環境影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

イ 基準や目標との整合性に係る評価

① 評価方法

評価方法は、重要な植物種について、「環境省レッドリスト」の掲載種、「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト」の掲載種、「絶滅の恐れのある野生生物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日法律第75号）における国内野生動植物種、「文化財保護法」（昭和25年5月30日法律第214号）における天然記念物について、影響の程度に応じ、適切な保全が図られているかを評価するものとする。

② 評価結果

工事中における造成等の施工に伴う植物への影響は、「環境省レッドリスト」等に記載されている種に対し、事業の影響の程度に応じた環境保全措置を実施するものとしていることから、上記の基準と整合が図られていると評価する。

(2) 土地又は工作物の存在及び供用による影響（火力発電所の存在）

ア 回避・低減に係る評価

① 評価方法

予測結果を踏まえ、火力発電所の存在に伴う重要な植物種及び植物群落への影響が、実行可能な範囲で回避・低減が図られているかを評価するものとする。

② 評価結果

供用後における発電所の存在に伴う植物への環境影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

●自然緑地の残置

- ・対象事業実施区域内の樹木を全面伐採とはせず、対象事業実施区域の周囲に位置する既存森林をほぼ自然の状態の森林として残置し、対象事業実施区域周辺の森林・草地環境と連続性を持たせることで、従前より棲む動植物の多様な生息・生育環境を保全する。

●造成緑地の構築

- ・対象事業実施区域に発生する切土法面及び盛土法面は、草本類の種子吹付等（改変箇所の表土を予め採取・保存し植生基材として利用）を行い、一部の法面においては植樹を行うことで、緑化を図る。

●濁水の流出防止

- ・発電所からのプラント排水は場内に排水処理設備を設け下水道に排水するほか、雨水等は調整池の設置により、流域への濁水の流出を防止する（下水道が運転開始までに敷設されない場合は、「第2章 対象事業の概要 2.2 事業計画の概要 2.2.4 対象事業の工事計画の概要 (9) 一般排水に関する事項」に基づき対応する）。

上記に示すように、環境保全措置として、自然緑地の残置、造成緑地の構築、濁水の流出防止を実行することにより、植物への影響の抑制が図られていることから、供用後における発電所の存在に伴う植物への環境影響は、実行可能な範囲で回避・低減が図られているものと評価する。

イ 基準や目標との整合性に係る評価

① 評価方法

評価方法は、重要な植物種について、「環境省レッドリスト」の掲載種、「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト」の掲載種、「絶滅の恐れのある野生生物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日法律第75号）における国内野生動植物種、「文化財保護法」（昭和25年5月30日法律第214号）における天然記念物について、影響の程度に応じ、適切な保全が図られているかを評価するものとする。

② 評価結果

供用後における発電所の存在に伴う植物への影響は、「環境省レッドリスト」等に記載されている種に対し、事業の影響の程度に応じた環境保全措置を実施するものとしていることから、上記の基準との整合が図られているものと評価する。

(空白ページ)